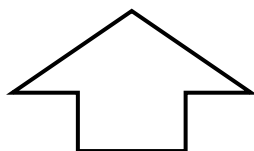


修士課程：ディプロマポリシー

1. 医科学分野の幅広い専門的知識を習得し、この知識を用いて高度な専門性を有する研究を計画することができる。
2. 学術的意義、新規性、創造性等を有する研究を、高い倫理的責任感を備えて推進・実施することができる。
3. 研究成果を広い視野を持ち論理的に説明できる。

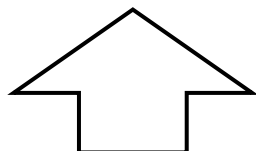


M 2

【(必修) 研究指導科目】

医科学演習 II

所属する研究分野において、研究演習、実験実習を通じて修士論文の作成に向けた研究を行う。また、修士論文審査会で論文のプレゼンを行う。



M 1

【(必修) 研究指導科目】

医科学演習 I

所属する研究分野において、研究演習、実験実習を通じて修士論文の作成に向けた研究を行う。

【(必修) 基礎科目】

医学英語

研究者に必要な英語コミュニケーション能力向上を目的とし、議論およびプレゼンテーションを重視する。

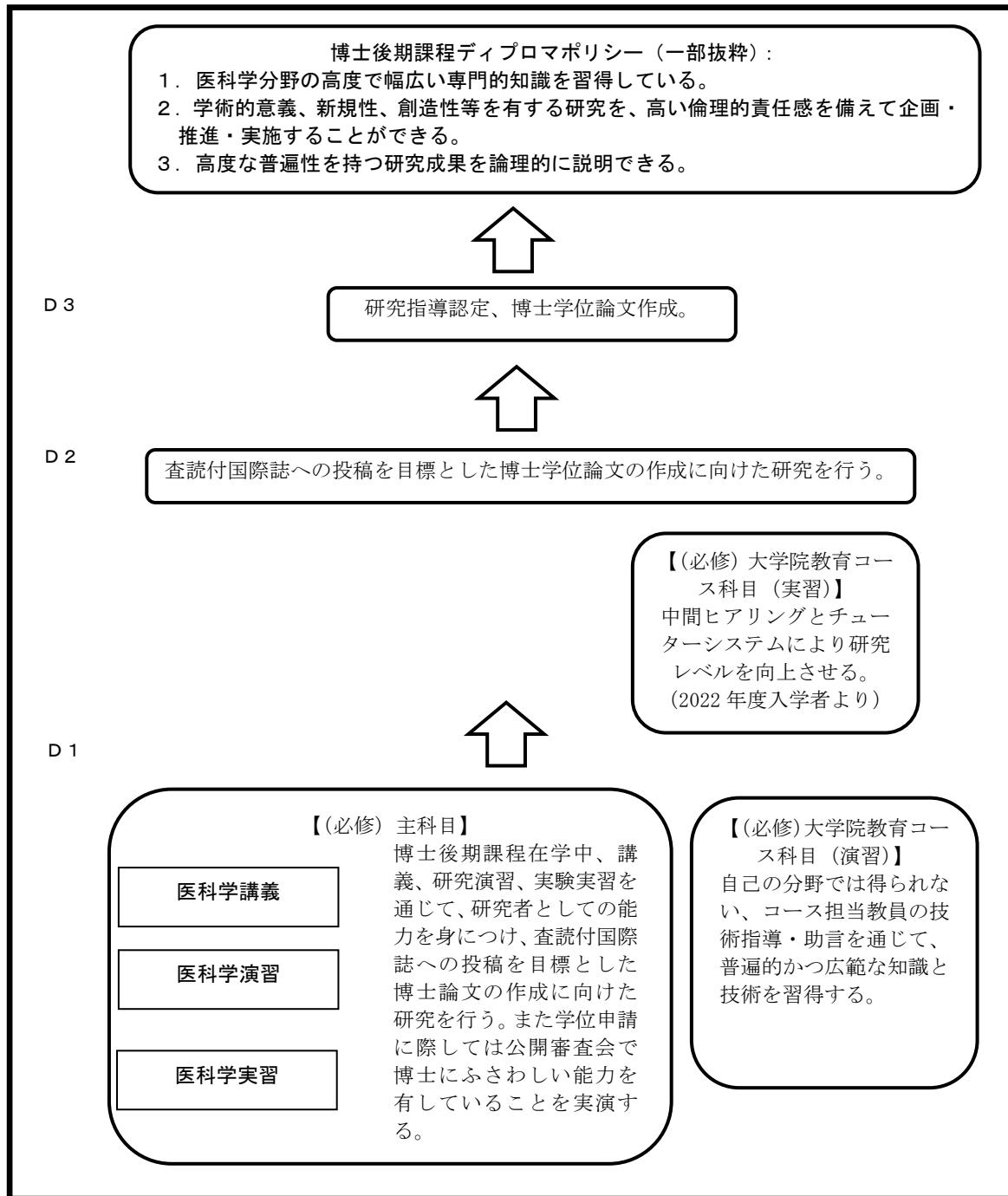
【(必修) 基礎科目】

大学院教育コース科目
(修士)

個々の分野では得られない技術・助言を受ける科目。

【(選択) 専門科目群】 修士課程全体を通じて、以下のような授業科目を履修し、各自のバックグラウンドや研究領域に合わせて、医学に関する体系的な知識を習得する。さらに、創薬や医療工学等の社会実装型の研究手法や考え方を学ぶ。

- 「エッセンシャル解剖学」、「エッセンシャル生理学」、「エッセンシャル病理学」、「組織学」「発生学」等の基礎医学の科目
- 「医学研究技術実習」: 最先端研究機器による研究技術実習
- 「病院実習」: 病院における診療・臨床研究の見学
- 「創薬医学概論」、「生体システム・情報診断学」、「ゲノムインフォマティクス」等の創薬医学関係の科目
- 「医療工学特別講義」: 医療機器開発等の産学横断する医工学に関する科目。
- 「医療統計学」、「医療統計学実習」あるいは知的財産に関する科目
- 医学・生物学に関する学部全学共通科目
- 英語により開講される少人数教育科目



医学研究科 社会健康医学系専攻 専門職学位課程 コースツリー

コースツリーの見方： 図の下部からコア→基礎→中級→応用と積み上げてゆき、最終的に「課題研究」を経てDPを達成する

作成日：2021年2月22日

全体DP:「社会における人間」の健康や疾病に関わる問題を探知・評価・分析・解決する知識、技術、態度を有する高い素養を身につける

| | | | |
|--|---|---|--|
| <p>専門職学位課程 DP:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会健康医学に関わる要素・政策・調査・教育において、専門的かつ指導的役割を果たすことができる 2. 人々の健康に関わる経済・環境・行動・社会的要因について知識を深め、新しい知識と技術を生み出すことができる 3. 生み出した新しい知識と技術を健康・医療に関わる現実社会の実践、方策と政策に還元できる 4. 社会健康医学に関わる各専門の知識と技術をもって、個人・組織・地域・国・世界レベルで貢献できる | <p>GCコース DP:</p> <p>先端医療に対応できる高度な専門的知識とコミュニケーション能力を持ち、患者・家族の立場を理解して遺伝医療におけるインターフェースとなる能力を身につける</p> | <p>CBコース DP:</p> <p>臨床研究の科学的な質を確保するために必要な統計学基礎・臨床統計学の知識・臨床統計家に必要な技術・臨床研究の倫理的な質を確保するために必要な知識・態度を身につける</p> | <p>知財プログラム DP:</p> <p>生命科学分野における知的財産経営、技術経営に関する問題解決能力、実践・実務能力、及び、高度な専門性を身につける</p> |
|--|---|---|--|

課題研究 (MCRコース・GCコース・CBコース・知財プログラムを含む、専門職学位課程全学生必修)

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|--|--|--|
| <p>応用</p> <p>社会健康医学におけるコア5領域の科目群 (エビデンスの活用の科目群を除く)</p> | <p>疫学</p> <p>観察研究の新計的方法 解析計画実習</p> <p>フィールドワーク 臨床試験(MCR・CB) 質的研究・演習</p> <p>質的研究入門 MCR/CB研究の進め方 人間生態学</p> | <p>政策・マネジメント</p> <p>行政医学・産業医学 医薬品・医療機器の開発計画、薬事と審査 行動経済学と健康医療介入</p> <p>医薬品の開発と評価 医療の質評価 地域保健活動論</p> | <p>環境・感染症</p> <p>ベンチトレーニングコース 環境・感染症論 環境曝露・リスク評価 毒性科学 感染症数理モデル入門</p> | <p>行動科学・倫理</p> <p>医療倫理学各論(GC) 健康デザイン論 医療社会学・基礎</p> | <p>GCコース</p> <p>他の科目も履修可能 遺伝医学特論 ゲノム科学と医療 基礎人類遺伝学演習(GC限定) 臨床遺伝学演習(GC限定) 遺伝的判別力演習1・2(GC限定) 遺伝的判別力演習2(GC限定) 基礎人類遺伝学 臨床遺伝学・遺伝的判別力 遺伝医療と倫理・社会論(GC限定)</p> | <p>CBコース</p> <p>他の科目も履修可能 統計モデルとその応用(CB) 生存時間解析(CB) 臨床試験の統計的方法(CB) 臨床研究実地研修・II(CB限定) 統計家の行動基礎(CB) 統計的推測の基礎(CB) 統計的推測の基礎・演習(CB限定) メタアナリシス(CB) 多重性の考え方(CB) 臨床統計家の実務特論(CB限定)</p> | <p>知財プログラム</p> <p>他の科目も履修可能 知財プログラム特論 知的財産法演習 特許法特論・演習(前期)(後期) 契約実務演習 知財プログラム 知的財産経営学基礎 メタカル分野技術経営学概論 (生命科学系以外) 薬理学 病理学 生理学 分子細胞生物学 発生学</p> | <p>医療経営</p> <p>知財プログラム限定 医療経営特別 知財プログラム・II 医療経営かつが その他科目 社会健康医学課外実習 (イタラック)</p> |
|---|---|---|---|---|---|--|--|--|

| | | | | | | | |
|---|--|-------------------------------------|--|--|-------------------------------------|---|--|
| <p>社会疫学研究法 (MCR限定)</p> <p>臨床研究計画法 I・II / 演習 I・II (MCR限定)</p> <p>臨床研究特論 I・II (MCR限定)</p> <p>EBM・診療ガイドライン特論(MCR限定)</p> <p>系統的レビュー(MCR限定)</p> | <p>疫学 I (疫学入門) (コア必修)</p> <p>疫学 II (研究デザイン) (コア必修)</p> | <p>感染疫病学</p> <p>産業・環境衛生学</p> | <p>医療制度・政策 Healthcare Systems and Policies around the World</p> <p>社会健康医学と健康政策</p> <p>医療政策・行政(GC)</p> <p>保健・医療の経済評価</p> | <p>行動科学</p> <p>基礎医療倫理学(GC)</p> <p>医学コミュニケーション基礎</p> <p>社会疫学</p> | <p>医療技術の経済評価 (MCR限定)</p> | <p>健康情報学 I 健康情報学 II</p> <p>エビデンスコース入門</p> <p>文献検索法(GC)</p> | <p>左記のコア5領域について、専門職学位課程のうち基礎特論(2年制MPHコース)及び1年制MPHコースは合計10単位以上、MCRコース、知財プログラムは、コア必修およびコア3～5の各領域から1単位以上合計7単位を修得することを修了の要件とする。その他必修科目は、各コアプログラムによる。</p> |
|---|--|-------------------------------------|--|--|-------------------------------------|---|--|

特別コース・プログラムの点線の枠内の科目で、科目名の後に(●●限定)という指定がない科目は専門職学位課程全学生が対象(履修可能)。

特別コース・プログラムの点線の枠外の科目で、科目名の後に(MCR)や(GC)等特別コースを示す括弧がある科目は、当該特別コースの必修科目。
MCR:臨床統計学養成コース
GC:遺伝的判別力コース
CB:臨床統計学教育コース
知財:知的財産経営学プログラム

<凡例>

座学

実習・演習

専門職学位課程 1・2年次 (MCRコース、1年制MPHコースは1年次)

医学研究科 社会健康医学系専攻 博士後期課程 コースツリー

作成日：2022年2月22日

全体DP:「社会における人間」の健康や疾病に関わる問題を探知・評価・分析・解決するために必要な学術課題を考究する素養を身に付ける

博士後期課程DP:

1. 社会健康医学に関わる実務・政策・調査・教育において、高度に専門的かつ指導的役割を果たすことができる
2. 人々の健康に関わる経済・環境・行動・社会的要因について高度な知識を深め、新しい知識と技術を生み出すことができる
3. 生み出した新しい知識と技術を健康・医療に関わる現実社会の高度な実践方策と高度な政策に還元できる
4. 社会健康医学に関わる各専門の高度な知識と技術をもって、個人・組織・地域・国・世界レベルで貢献できる

【3年次】博士論文

博士課程セミナー

社会健康医学・臨床疫学研究（演習・実習）

各自の到達目標に合わせ本専攻専門職学位課程の各科目を履修することができる

以下の各科目について、本専攻専門職学位課程からの進学者は履修する必要はない

社会健康医学におけるコア5領域の科目群

| 疫学 | 医療統計 | 環境・感染症 | 政策・マネジメント | 行動科学・倫理 |
|--|--------------------------|----------------------------|---|--|
| コア領域1 疫学 I (疫学入門) (コア必修) 疫学 II (研究サイ) (コア必修) | コア領域2 医療統計学 (コア必修) | コア領域3 感染症疫学 産業・環境衛生学 | コア領域4 医療制度・政策 Healthcare Systems and Policies around the World 社会健康医学と健康政策 医療政策・行政(GC) 保健・医療の経済評価 | コア領域5 行動科学 基礎医療倫理学 医学コミュニケーション ション基礎 社会疫学 |
| コア(選択)必修 | | | | 医学基礎領域 (医療系学部等 以外出身者) 医学基礎 I 医学基礎 II 臨床医学概論 |

左記のコア5領域について、コア必修およびコア3～5の各領域から1単位以上合計7単位を修得することとを修了の要件とする。

博士後期課程 1～3年次